



こもれびくん

かわセミハウス通信 16号



2021年1月（1月・4月・7月・10月発行）

かわセミハウスは、日野市を象徴する緑と清流に包まれた黒川清流公園のすぐ近くに、そこに集まる人と人をつなぎ「プラスアルファ」を生み出すことをコンセプトとして2017年4月にオープンしました。かわセミハウスは、だれでも気軽に来られる、居心地の良い居場所づくりを目指しています！

10月・11月・12月のトピックス

★ 布川ミニフェス

10月31日（土）15:00から、実践女子大学須賀ゼミ「暮らし工房」主催で、新潟県十日町市の布川地区の皆さんとの交流会「布川ミニフェス」を開催しました。布川の皆さんには、例年かわセミハウスで開催されるイベント「オクトーバーフェスト」にもご参加いただくなど、日ごろから交流をもっていたいただいています。

第1部では黒川かわせみサロンスタッフなど、ゆかりのある方々との交流会を行ない、布川産の新米を参加者手作りのおかずと一緒に美味しくいただきながら旧交を温めました。

第2部では布川写真展や、布川の新米・採れたて野菜の販売、生産者インタビュー、クイズラリーなどを行ないました。



子どもたちに人気の缶バッジ作りのワークショップでは多くの子どもたちの参加があり、合計で約100人の方々が来場され久しぶりに顔の見える交流ができた楽しい一日を過ごすことができました。

★ かわセミハウス企画展「日野の植物たち」

12月4日（金）、5日（土）に日野植物研究グループ、ひのどんぐりクラブのご協力により実施しました。写真や映像、実物展示、記録資料により日野の植物を紹介し、2日間で90人以上が来場しました。アンケートでは「日野にも多くの植物があることがよくわかりました。こうした機会が沢山あると助かります。」などのご感想をいただきました。



5日の午後には「松ぼっくりを使ったクリスマスツリーづくり」を開催。参加者と一緒に、松ぼっくりに木の実などで思い思いのデコレーションをして、オリジナルのクリスマスツリーをつくりました。

★ 暮らし工房とひのどんぐりクラブコラボ企画「どんぐりコマで遊ぼう！」

10月25日（日）15時から、どんぐりを使ったオリジナルのコマを制作しました。暮らし工房のスタッフと一緒にひのどんぐりクラブがコマ作りの指導を行ない、参加者の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。





カワセミハウスで行われた講座

市民環境大学 ～ 環境について1年を通して学ぶ ～

★ みんなの環境セミナー「黒川清流の冬を探そう」 12月3日（木）

市民環境大学の公開講座として開催。当日は黒川清流で、カワセミハウス小倉館長とカワセミハウススタッフを講師に、冬の雑木林で見られる野鳥や、木や草の実の観察を行いました。

参加者からは「湧水があり、水辺の植物や木々の豊かさが多様な鳥を招いていると実感」「お話を聞かないと通りすぎてしまう実や鳥が知れました」などの感想をいただきました。

野鳥の観察では、冬ならではのシジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、コゲラの混群を見ることができました。



★ 第12期市民環境大学が終了しました。 12月17日（木）

令和2年度で第12期となる市民環境大学の今期の修了者は23人でした。第1期からの修了生の合計は208人となりました。令和3年度の講座生の募集は3月15日号の広報でお知らせする予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

見て聞いて知ろう・くろかわシリーズ（カワセミハウス協議会 環境分科会）

★ 「冬の雑木林で落ち葉かき～落ち葉の役割を考えよう」12月5日（土）

人気講座「雑木林ボランティア講座」の講師も務める市民環境大学OB会会長の飯島利三氏



を講師に開催しました。室内で落ち葉に関する話題提供の後、

受講者と一緒に東豊田緑地保全地域で落ち葉かきや、昔ならの道具

「背^{しよ}負^{ばしご}い梯子」で重い落ち葉を背負う貴重な作業を体験してもら

いました。参加者からは「現在でも何かの形で落ち葉の利用方法が見つかれば良いと思う」などの感想をいただきました。

NEWS!!

★ カワセミハウス裏の緑地の愛称決定！



9月初めからハウス裏の緑地の愛称を募集し、81件の投票があり、68の愛称が提案されました。ご応募にご協力ありがとうございました！

案の中から、愛称を「みんなの秘密基地」に決定しました。

「みんなの秘密基地」で皆さんに親しんでいただきたいと思います。



カワセミハウスでの「交流」

★ 「まるっと」C-PLANT

「まるっと」C-PLANTとは、中央大学を中心とする学生ボランティアグループ（C-PLANT）が運営しています。カワセミハウスを拠点に、地域の子どもたちの学習をサポートするとともに、学習だけではなく遊ぶこと、食べることを通して、子どもたちを中心にみんなが「まるっと」集まれる、新しい地域の居場所づくりを目指しています。



★ 黒川かわせみサロン



黒川かわせみサロンは、黒川地域の有志の方が運営する高齢者の交流の場です。カワセミハウスを会場として、実践女子大学（くらし工房）の学生も参加し、月に一度、お話ししたり、歌ったりして、楽しく活動しています。

カワセミハウスの調査・報告

★ 2019年度日野市環境白書

2019年度日野市環境白書が完成しました！

環境白書では「みどり」、「水」、「ごみ」、「地球温暖化」、「生活環境」の分野ごとに日野市の環境の現状や取り組み等がわかる報告書です。報告書は、カワセミハウスをはじめ、日野市ホームページや市立図書館でご覧いただけます。

【日野市環境白書とは】

日野市環境基本計画（市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で、必要とする良好な環境を確保するための方向性を示すもの）に基づき、市長は、毎年、日野市議会に、環境の保全等のために市が実施した事業の概要に、日野市環境審議会の意見を付けて、報告書を提出しています。その報告書を「日野市環境白書」と言います。



★ 2020年度エコキング冬

エコキングでは、子どもたちを対象とした家庭でのエコ活動のアンケートと保護者対象のアンケート「日野市の行なっている温暖化防止や省エネの取り組みについての認知状況」を実施しました。市内全小学生にアンケートを配布し、7,135枚（回収率76.2%）のご回答をいただきました。

【エコキングとは】

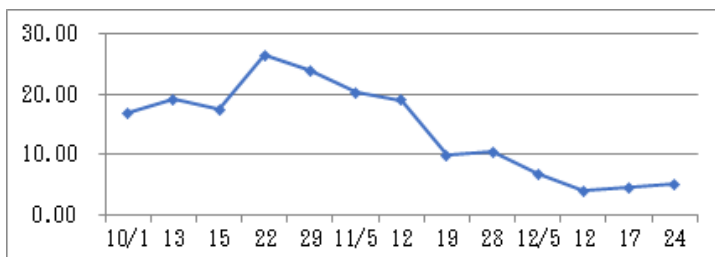
市内小学校の児童のご家庭を対象にしたアンケート調査です。この調査は、小学生のエコへの関心を高め、ご家庭でもエコについて話し合うことにより、ご家庭でも積極的にエコ活動に取り組むきっかけをつくることとあわせ、小学生のいるご家庭のエコの取り組みについて把握することを目的としています。調査は、市民・事業所・市（日野市環境保全課・カワセミハウス）による「環境基本計画推進会議のCO2グループ」が実施しています。



★ 黒川清流公園の水路での湧水量測定結果 (2020年10月~12月)

カワセミハウスでは、オープンした2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あずまや池出口の水路で湧水量を測定しています。なお、湧水量に大きな影響を与える降水量については、アメダス八王子地区降水量を参考にしています。

平均流量 (ℓ/秒)



測定月	10月	11月	12月
平均流量(ℓ/秒)	20.8	14.9	5.1
月間推定流量(t)	55,636	38,640	13,687
月間降水量(mm)	238	12	1

測定日 (月/日)



10月~12月の月間測定流量は合計 107,963 t、降水量は合計 251mm でした。

あずまやはこの辺り



11月と12月の降水量は過去3年間の同じ月と比べると最も少なくなりました。今年7月から9月の降水量は測定開始以降最も多かったことと比べると、いっきに雨が降らなくなった印象を受けます。雨が降らなくなった時期とあわせて、平均流量も下がっています。

専用の機械で測定しています

カワセミハウス協議会の活動

★ 第3回カワセミハウス協議会 11月21日(土)

年4回開催の第3回目の協議会を開催。各団体の活動報告、2021年度協議会の日程、2021年度協議会行事、2021年度の集会室の予約について話し合いました。

★ カワセミハウス大掃除大会 12月19日(土)

カワセミハウスでは、2017年の開館以降、毎年、カワセミハウス協議会の皆さんと大掃除大会を行っています。今回は、建物の中と外に分かれて、密になる状況は避けながらも、作業を通じ、多くの方が交流する場面が見られました。

【カワセミハウス協議会とは】



様々な主体との共創により、この地の恵まれた自然環境を核として、地域に根差した地域の魅力向上と課題解決に取り組み、地域コミュニティの活性化及び「地域」をキーワードにした日野市ならではの豊かな暮らしを創造することを目的とし、目的達成に共鳴した市民、事業者、市等から構成される会です。

目的達成に向けて、日頃から緩やかにつながり、一緒に知恵を絞ったり、汗を流したりしています。

日野市立カワセミハウス



住所：〒191-0052 日野市東豊田 3-26-1 電話/FAX：042-581-1164

メールアドレス：kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp

開館時間：9：00~18：00 (現在、緊急事態宣言により開館時間を短縮しています。通常は21：30まで開館。)

